

②

科目名		就職実務Ⅱ				
担当教員		多田 剛史		実務授業の有無	○	
対象学科		ものづくりデザイン科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択		必修	単位数		時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方		社会人としてのマナーとルールを確認し、社会人としてのスタートの準備を行う。入社後を想定した演習を通し、就職する事についての自覚をつけさせる。				
学習目標 (到達目標)		自律的な就職活動が出来るようになる。就職の内定。社会人としてのマナーとルールが身に付いている。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①「動画で学ぶ実践コミュニケーション」 ウィネット ②「実践ビジネスマナー」 ウィネット				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	・就職活動について随時情報を提供する。 ・就職活動について報告する。					
2	・コミュニケーション技法 コミュニケーションを考える 目的に即して聴く 傾聴・質問する 目的を意識する 話を組み立てる ことばを選び抜く 表現・伝達する			教材①動画で学ぶ実践コミュニケーション、にて実施する		
3	・ビジネスマナーについて学び、社会人としての心構えをつける。			教材②「実践ビジネスマナー」にて実施		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
期末考査 80% 提出物 10% 出欠席・授業態度等 10% 期末試験、提出物、出席率で総合的に判断して評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				前期でクラス全員内定できるように就職活動に全力投球してください。 いよいよ社会人としての第一歩を踏み出します。入社して困らないよう、ビジネスマナーを身につけましょう。		
実務経験教員の経歴		機械設計・製品開発者として、職場に17年間関わっていた				

科目名		就職実務Ⅱ			
担当教員	多田 剛史	実務授業の有無	○		
対象学科	ものづくりデザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	社会人としてのマナーとルールを確認し、社会人としてのスタートの準備を行う。入社後を想定した演習を通し、就職する事についての自覚をつける。				
学習目標 (到達目標)	社会人としてのマナーとルールを身に付けている。就職の内定。コミュニケーション検定3級の取得。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①「動画で学ぶ実践コミュニケーション」 ウィネット ②「実践ビジネスマナー」 ウィネット				
NO.	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	○コミュニケーション技法 ・来客対応 ・電話対応 ・アポイント・訪問 ・情報共有の重要性 ・チーム・コミュニケーション ・接客・営業 ・クレーム対応 ・会議・取材・ヒアリング ・面接	教材①動画で学ぶ実践コミュニケーション、にて実施する			
2	○コミュニケーション検定3級対策（模擬問題・過去問題）	模擬問題・過去問題にて実施			
3	○ビジネスマナーの復習	教材②「実践ビジネスマナー」にて実施			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
期末考査 80% 提出物 10% 出欠席・授業態度等 10% 期末試験、提出物、出席率で総合的に判断して評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		いよいよ社会人としての第一歩を踏み出します。入社して恥をかかないよう、ビジネスマナーを身につけましょう。			
実務経験教員の経歴		機械設計・製品開発者として、職場に17年間関わっていた			